



メロス通信 不定期便

4月25日 まちかど健康チェック&カフェ
～地域交流が生みだす力と地域医療の役割～

「みんなで豊かにこのまちで元気に暮らしていきたい」という思いを共にして組合員と職員で開催するこのイベントは温もりと笑顔あふれる有意義な活動になっています。

これを楽しみに再び参加された方、チラシをみて従業員と一緒に参加して下さった事業主、アメリカからの観光旅行で偶然立ち寄ってくださったドクターなど様々な方が来訪されました。

今回は協立病院医局から2人の医師が参加し大変好評でした。

ある組合員さんは医師が地域に出て予防活動に積極的に参加する姿に感激し、2人の医師を「福の神」と呼びました。



初めて参加する永岡先生からは「これぞ地域医療だ」という言葉を聞くことができ医療生協が取り組む地域医療の真髓を感じることができました。

写真は90代を筆頭にすご高齢の組合員さんと英語しか話せないアメリカ人のドクターがスマホの翻訳機能をつかって対話している様子です。組合員さんの方が積極的に話しかけられ、国をまたぐ多世代異文化交流が楽しそうに続いていました。

ゆるやかな地域の交流が人々を笑顔にして時には考えられないような地域の潜在的な力を発揮させることをあらためて感じました。

福の神に会えた日——
まちかど健康チェック&カフェ開催

山口支部支部長代行
医療生協健文会理事 松林 俊彦



山口市市民活動センターで2回目となる「まちかど健康チェック&カフェ」が開催され20名以上が参加し、にぎやかなひとときとなりました。

買い物途中のご夫婦にも声をかけ、健康チェックと医師のアドバイスを体験していただきました。その後、カフェでスタッフが医療生協健文会の活動や取り組みを説明すると、ご夫婦は大きく共感され、健康維持の重要性や医療生協健文会がこのような活動を行っている大事さを理解されました。最後には「ナンパされた気持ちで参加したけれど今は皆さんが福の神に見える」と心温まる言葉もいただき、スタッフの励みとなりました。

新たに1名の組合員申込みもあり、山口市地域の健康づくりがまた一歩前進しました。ご協力をいただいたみなさんに感謝いたします。

まちかど健康チェック&カフェに参加して
宇部協立病院 精神科医師 永岡元博



山口市道場門前アーケード内の「さぼらんて」で開催された「まちかど健康チェック&カフェ」に初めて参加しました。会場に受付係や健康チェック係（血圧、体組成、血管年齢、骨密度測定を行う）など多くの職員が配置されていることに驚きました。

当院内科の野田先生のすぐ横で、私も心の相談や健康相談に乗りました。普段の診療と違いカルテを書かなくてよいので、メモをとらず気楽な気持ちで聞いて、思いついたアドバイスをいつになく繰り出した気がします。来場された笑顔の皆さんと交流できて私も元気をもらえました。

メロスふれんどの会
より、カレーバザーへ
のご協力ありがとうございました！



～ソーシャルワーク委員会～

5月2日に開催した「第1回ケアの倫理カンファレンス」はリモート参加を含め参加者は45名でした。上宇部クリニック宮本師長からの事例は「差しのべる手を拒む命に私たちはどう向き合うべきか」という大きな課題を残してくれました。次回は運営をさらに改善して8月1日（金）開催予定です。